

新評論

2022
10
No.326

発行所 © 新評論 2022年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込



著者近影©R.R.「相手がミミズであれ、葉草であれ、ユキヒョウであれ、目には見えない他の生物の内面性や存在のしかたを物語る、目に見える痕跡に注意を向ける行為を、追跡と呼ぶのである」(本書第5章より)

動物たちの「地政学」や「共存の論理」が人類に呼びかけるもの。私たちの視線と行動を大切なほうへと向き直させてくれる5つの「追跡」の物語

動物の足跡を追って

バティスト・モリゾ／丸山 亮 訳

◆ジャンル: エコロジー／動物探検法／人類学

南仏の放牧地に突如襲来した狼、アメリカのイエローストーン国立公園に生息する灰色熊(グリズリー)、キルギスの山頂付近に棲むユキヒョウ……手探りで獣道を進み、崖沿いの険路を踏み越えながら、南仏出身の哲学者バティスト・モリゾは、野生動物を「追跡」する。そのたくましい体つきは、哲学者というよりも探検家を思わせる。

本書は、著者が経験した五つの追跡の物語を巡る作品だ。追跡という言葉が表す通り、道しるべとなるのは動物が残した痕跡である。モリゾは足跡の形や糞の状態をもとに、動物の行動を思い描く。この動物はこの地でどのように暮らしているのか。この動物は他の生物とどのように共存しているのか。モリゾは動物の論理を学び、その行動の意図を理解し、動物が知覚しているものを突き止めようとする。追跡は徐々に、動物の世界を理解しようとする哲学的な思索へと移行していく。

モリゾが疑問に付すのは、西欧的な「自然」の概念だ。西欧的な自然観は、生物を自然という言葉でひとくくりにし、

意志を持たない受動的な存在とみなしている。ところがモリゾが実際に出会った動物たちは、強大な捕食者からミミズに至るまで、実に多様な方法で棲み家を築いている。モリゾはそのような出会いから、西欧の自然主義的な世界観と決別し、生物との関係性に富んだアニミズム的世界観を構築しようと試みる。生物と同じ地平に立ち、共存のための外交関係を築くことはできないかと問いかける。追跡の物語を通して、人間と他の生物との関係性や、生物としての人間のあり方が語られていく。

交互に織り込まれた追跡の物語と思索は、見事な一枚絵をなしている。冒険譚としても哲学書としても楽しめる、世界の見方を一変させてくれる作品。

(まるやま・りょう 仏訳家)

ISBN978-4-7948-1220-9 10月下旬刊

四六並製 予二五六頁 予二六四〇円

動物と戦争

(真の非暴力へ、(軍事・動物産業)複合体に立ち向かう)
A.J.ノチェラ(二世)他/井上太一 訳

好評刊

動物・人間・暴虐史

(「飼い貶し」の大罪、世界紛争と資本主義)
デビッド・A・ナイバート/井上太一 訳 四一八〇円

著者 Baptiste MORIZOT 1983年生まれ、フランスの哲学者。エクス=マルセイユ大学にて哲学科の准教授を務める。人間と他の生物の関係について、フィールドワークに基づいた研究を行っている。著書に「生物の熾火をかきたてる」、「生物の存在のしかた」(いずれも未邦訳)などがある。

衝撃の告白で話題沸騰、「さんねんな先生」の著者による新時代の教育書第二弾!理論に基づく「理想の教育環境」を築くための提案

さんねんな教育環境

現職教師が語る「学力格差」の実態



現代日本の教育環境は、子どもの成長や自立につながるところか、子どもを苦しめたり、危険にさらしたりしていないだろうか?

有馬心一郎

◆ジャンル:教育

「環境一つで救える命がある」——この事実を知ったとき、みなさんは何を感じてでしょうか。これまでみなさんは、小学校、中学校、高校などさまざまな「環境」で教育を受けてきたと思います。なかには、進学前に学習塾へ通われたという方もいるでしょう。

さて、ここで「想像してほしいこと」があります。それは「理想の教育環境」についてです。この「理想」をバツと描ける人はどれほどいるでしょうか。一口に「理想の教育環境」と言っても、価値観は人それぞれですから、答えはさまざまなものになるでしょう。

ある人にとっては、それは「好奇心を喚起する教育環境」かもしれません。「学力を重視する教育環境」を思い描く人もいれば、「安全を重視する環境」を挙げる人もいるでしょう。このように、「理想の教育環境」は千差万別なのです。

本書では、そうしたさまざまな「理想の教育環境」とは対極にある「さんねんな教育環境」について、現場での観察や同業者との交流で得た一次情報、さらに参考文献などをもとにその実態を分析し、

そこから真に求められるべき「理想の教育環境」を導き出していきます。

教師が明確な意図と理論に基づいて学びの環境を設定することで、子どもの成長や自立を促す可能性は一気に高まります。そしてそのことが、最終的には近年顕在化している「学力格差」の問題の解決にもつながるはず、というのが本書の主張です。しかも、環境の設定を誤れば、子どもの命にかかわる場合もありえるため、大人の役割は重大です。これは決して大げさな話ではなく、犯罪機械論に基づいた安全教育の試みなども各地で行われているのです。

「環境一つで救える命がある」——この言葉にさまざまな意味を込めました。本書を通してそれらの意味を実感していたら幸いです。

(ありま・しんいちろう)

ISBN978-4-7948-1222-3

10月下旬刊

四六並製 予二八〇頁 予二二〇〇円

刊 さんねんな先生

評 (「教育界初!」非常識な現場)を大告白!
好 有馬心一郎 一九八〇円

著者 関東の公立学校主任教諭。専門は教育社会学。学生時代から現職教師主催の教育研究団体に所属。「社会科授業の名人」「教師の教師」として知られる故・有田和正氏の指導を受ける。著書に本書姉妹編「さんねんな先生」。趣味はマラソンとイラスト。



新設なった気仙沼市魚市場。全長850mに及ぶ（提供：気仙沼市）

幾多の苦難を乗り越え、全国有数の漁業・水産業コンプレックスを明日のさらなる豊かさへと引き上げようとする人びとの思いに学ぶ

気仙沼／ 震災復興から「未来」に向かう

「海と生きる」三陸の水産都市

関 満博

◆ジャンル：地域産業／震災復興

青森県から福島県南部までの三陸沿岸地域、二〇一一年三月一日の東日本大震災の津波により市街地も地域産業も壊滅した。それから一年、巨大な国家投資によりハード面の復旧は大きく進んだ。他方、この間の人口減少は著しく、多くの地域で二〇～二五％の人口減となった。働くところがなければ人は暮らせない。

三陸地域は古くから漁業、水産加工業を基幹産業としてきた。だがこの数十年、漁業をめぐる環境変化（不漁、国際的な漁業規制）は大きく、加えて消費者の魚食離れも進んでいたため、漁業関連の人びとの間では不安が拡がっていた。そのような中で再出発であった。

その三陸の中でも、宮城県気仙沼市は随一の漁業基地であり、最大の水産加工コンプレックスを形成してきた。それらが津波によって一瞬で流失し、続く復興期の間、漁業、水産加工業という地域の基幹産業の将来が真摯に問い直されてきた。海に支えられ、海に泣かされてきた気仙沼の人びとは、被災を経てなお「海と生きる」という言葉を掲げ、見事に立

ち上がり、次の時代に向かおうとしている。筆者がこの地を初めて訪れたのは一九八六年、以来三六六年間にわたり二〇〇回以上の訪問を重ねる中で、震災後の一年はとりわけ事業者の方々の不屈の思いに胸を打たれることしきりだった。

本書では、この全国有数の水産都市について、その歴史構造的な特質と現状を明らかにし、復興から未来へと向かう姿に注目していく。震災一年目の総括の意味も込めて、第II部には復旧・復興の過程を追った現場報告も収めた。

全国的にも旧来の地域産業、地場産業はバブル経済崩壊以降の三〇年の間に大きく後退している。しかし気仙沼では、最も古い産業の一つである漁業、水産加工業の世界で、新たな可能性に向けて興味深い取組みが重ねられている。その挑戦は地域産業復興に取り組み全国の人びとにも大きな希望を与えることだろう。

（せき・みつひろ）

ISBN978-4-7918-1221-6 10月末刊

A5上製 予六五六頁＋カラー口絵八頁

予九三五〇円

著者 1948年生まれ。一橋大学名誉教授。博士（経済学）。『東日本大震災と地域産業復興Ⅰ～Ⅴ』『メイド・イン・ツバメ 金属製品の中小企業集積で世界に羽ばたく新潟県燕市』『メイド・イン・タカオカ 伝統工芸と近代産業が織りなす富山県高岡市』など著書多数。

おやつギャグはじめあわせ

カナイガ

カプセルトイ・フィギュア界注目目録のフードギャグ・クリエイター初の作品集! 日々の癒しに、ハロウィンやXmasの贈り物に!

B6変型並製 二二八頁 一三三〇〇円



ひとつからはじめよう

紋…スーザン・ヴェルデス / 島津やよい訳

ひとつのアクションが「水におちたひと粒の小石」のように大きな波を生む…『行動』の大切さを説く希望あふれる絵本。A4変型上製 三三三頁 一三三〇〇円

「この本読んで!」紹介
ISBN978-4-7948-1204-9



お好み書き見えない人の「ちよつと世間話」

水谷昌史

視覚障害者、世間を斬る! 「真のリアフリー」を求めて物言う視覚障害者の、タブーを恐れぬ傑作エッセイ集。四六並製 二四〇頁 一九八〇円



「点字毎日」紹介
ISBN978-4-7948-1216-2

私、子宮がんやめました

ドクターファンタスティック★嶋守さやか

「抗がん剤、やってどうなる?」がんとこの出会い。辛さと怖さに日々向き合っている「あなたの心」に触れたくて。四六並製 二二六頁 一九八〇円

「朝日新聞」他紹介
ISBN978-4-7948-1211-7



ひょうろく「兵六」

柴山雅都

「風を感じるこだわりの居酒屋」愛され続ける居酒屋の歴史・秘話・魅力を3代目亭主が語り尽くす。四六並製 二四〇頁 二二〇〇円



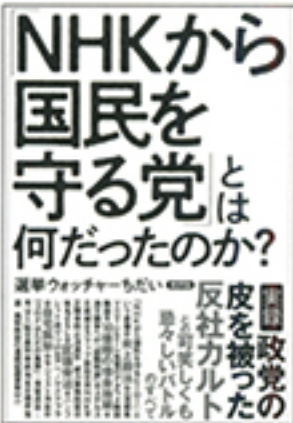
「日刊ゲンダイ」紹介
ISBN978-4-7948-1179-0

「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?

選挙ウォッチャーちだい

イジメ・嫌がらせ・脅迫、スラップ訴訟、人権無視・差別容認発言…政党の皮を被った反社カルト集団を徹底追及! 四六並製 二二六〇頁 一六五〇円

「東京/中日新聞」書評
ISBN978-4-7948-1197-4



攻める自治体「東川町」

中村稔彦

「地域活性化の実践モデル」人口減に見舞われ、過疎指定を受けながらも三ツクな施策で発展を続ける唯一無二の北の町。四六並製 カラー1口絵八頁 一九八〇円



「この本読んで!」紹介
ISBN978-4-7948-1206-3

メイド・イン・タカオカ

関 満博

「伝統工芸と近代産業が織りなす富山県高岡市」一大商工業都市として栄えた町の歴史と現在を総合的に探究。A5上製 五九六頁 八八〇〇円

「東京新聞」紹介
ISBN978-4-7948-1210-0



改訂版 読書家の時間

プロジェクト・ワークショップ編

〔自立した読み手を育てる教え方・学び方「実践編」〕「読むこと・書くこと」が得意になる待望の最新版。A5並製 二二八〇頁 二二〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1214-8



ワークショップの授業でエンターテインメント空間を築こう!

教師の生き方、
今こそチェック!

アンバー・ハーバー / 飯村幸史 吉田新一郎 訳

〔あなたが変われば学校が変わる〕教師自身の「生き方改革」をサポートする画期的ガイドブック! 四六並製 二二八〇頁 二六四〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1219-3



情熱を失いかけている教師(あなた)を元気にする!

生のための授業

M・ベルンセン / 清水満訳 / 企画協力: オ・ヨシホ

〔自信に満ちた子どもを育てるデンマーク最高の教師たち〕悩める日本の教師にデンマークからのアドバイス。四六並製 二二六頁 一九八〇円

「日本教育新聞」書評
ISBN978-4-7948-1203-2



悩める日本の教師にデンマークからのアドバイス

不安な心に寄り添う

C・ラヴィシー・ワインスタイン 小岩井僚・吉田新一郎 訳

〔教師も生徒も安心できる学校づくり〕ものの見方や考え方を変えると教室が変わる。米国立スクールメンタルケアの最前線。四六並製 二二九〇頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1215-5



教師も生徒も安心できる学校づくり

スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む

ヨラン・スバネリッド / 鈴木賢志・藤本マサト 編訳

〔日本の大学生は何を感じたのか〕投票率85・8%の国では、小学校社会科で何を教えているのか!? 四六並製 二二八〇頁 一九八〇円

久米宏氏絶賛
ISBN978-4-7948-1056-4



投票率85.8%の国では、小学生に何を教えているのか?

幼児から民主主義

E・アルネル&S・ソールレマン / 伊集守直・光橋翠 訳

〔スウェーデンの保育実践に学ぶ〕政治への諦念と権威主義を斥け、参加の意識を育む保育実践の手引き。四六並製 二二四頁 二二〇〇円

「保育通信」書評
ISBN978-4-7948-1191-2



日常の保育のなかで「民主主義」は実現できる!

何人にも悪意を抱かず

ステイブン・B・オーツ / 高島敦子 訳

〔エイブラハム・リンカン伝〕人物の内部に深く沈潜して描かれる英雄の実像と歴史の舞台裏。A5上製 七六〇頁 九九〇〇円

近刊
ISBN978-4-7948-1212-4



分かれたる家は立つこと能わず

東アジアの高齢者ケア

西下彰俊

〔韓国・台湾のチャレンジ〕日本を含む東アジアの介護システムを比較、その課題を掘り下げる意欲作! A5上製 二二六〇頁 二七五〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1218-6



韓国・台湾・日本の介護政策比較研究(本邦版!)

本田一成『ジュン、ハドゥー——KDDI労働組合20年の「キセキ」』

ユニ協定再締結から人事改革へ

■評者 神林 龍（一橋大学教授・労働経済学）

労働組合といえは前世紀の遺物扱いになって久しい。そんな中、ある労働組合の20年史を、労使関係論の研究者がノンフィクション風にまとめたのが本書である。その組合はKDDI労働組合。2000年にKDD、DDI、IDOの通信三社が合併して発足した会社の労働組合である。企業別組合を是とする日本にあつては、会社合併に際して、もともと文化も歴史も異なる組合が当然のように合併することが多い。KDDI発足時には、旧KDD労働組合が母体となって新労組に改組され

たものの、旧KDDがとつていたユニオン・シヨップ（大雑把に言えば、労働者に採用後の労組加入を義務付ける労使）協定は引き継がれず、新労組にとっては厳しい船出となった。本書では、その後の組織拡大や人事制度変更への対応などの紆余曲折が、組合執行部の活動に沿って紹介されていく。ハイライトは東日本大震災に際しての労使の結束と、ユニオン・シヨップ協定の再締結だろう。オープン・シヨップを「横のつながり」の妨げとみていた組合支部にとって

「朝日新聞」2022年6月18日は、再締結は追い風だったが、逆に「自分の意志に反して加入する労働者」が増え、「労組への要求が多様なものとなつて、労組との距離感が大きく開いてしまつた。裁量労働制と勤務インターバル制度の導入にはこの問題の克服が不可欠だった。数ある組合活動の記録にあつて本書が出色なのは、長く独占企業であつた旧KDD、稲盛和夫というカリスマ経営者の影響下にあつた旧DDI、典型的日本の雇用慣行を堅持するトヨタの出資による旧IDOという、かなり異質な労

使慣行をもつた三社が合併したにもかかわらず、比較的短期間に労使関係を安定させた経緯がわかる点だ。とくに、裁量労働制の導入という一大人事改革に労組の関与が大きかった点は、拡大中といわれるジョブ型雇用を実効的ならしめるヒントになるかもしれない。

ジュン、ハドゥー

本田一成

「KDDI労働組合20年の「キセキ」」
激しくドラマチックな闘いの歴史を描く、刺激に満ちた傑作ノンフィクション。
四六並製 三三四頁 二六四〇円

「朝日新聞」書評
ISBN978-4-7948-1207-0



本を売る

特別な一冊との出会いを生みだすために

私にとつての大切な本は、人から貰ったものである事が多い。学生時代、陸上部に入ることを決めたのは、父にすすめられた本の影響であった。今でも新刊が出るたびに購入するほど愛読している作者の本を最初に読んだのは、母から面白いよと渡された一冊だった。なかでも特に思い出深いのは、小学生の頃、イベントで貰った本である。市の七夕企画で、市内の小学生に短冊に願い事を書かせて、うち三名が願いを叶えて貰えるというイベントであった。この時、私は短冊に「本が一冊欲しい」と書いた。他の子たちが何を書いたのかは知らないが、私の願いは見事当選。後日、手元に一冊の文庫本が届いた。今にして思えば、どうせならもっと値段の高いものを願えば良かったかな、とも思うが、その当時は大勢の小学生の中から選ばれた事に加え、お目当ての本が貰えた事が嬉しく、暫く読まずに机の上に飾っていた。

高校時代、母が働いていた病院の医師から貰った長編歴史小説も忘れ難い。あまりの面白さに受験勉強そつちのけで読みふけり、半月足らずの内に読了した。読み終えた後の何とも言えない達成感は今でも覚えている。ただ、翌月の模試では大きく成績を落とし、父に大目玉を食らったという苦い記憶もセットではあるが。

そんな私も昨年の冬、娘が産まれて一児の父となった。産まれた当初は、あまりの小ささに抱きかかえることさえ躊躇うほどであったが、気づけば体重が倍以上になり、泣くよりも笑う時間の方が増えてきた。

娘はこれから成長し、多くの本と出会う。娘だけでなく、まだ見ぬ本と出会い、人生が変わるかもしれない人が大勢いる。そんな出会いの一つでも多く生み出すために、一冊でも多くの本を届けていきたいと思う。

株式会社トーハン

特販第一部第一グループ

福島一貴

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(7・7~7・26)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 6月号 ●書標「青空と文字のあいだで」(福嶋聡)
- 2022夏号 ●この本読んで!「ひとつからはじめよう」
- 7・7 ●中日新聞(県内版)「私、子宮がんやめました」(著者談)
- 7・9 ●西日本新聞「青空と文字のあいだで」(森元齋)
- 7・16 ●図書新聞「青空と文字のあ

いだで」(著者と中村隆之氏の対談)

- 7・21 ●朝日新聞(愛知版)「私、子宮がんやめました」(著者談)
- 7・23 ●東京新聞「メイド・インタカオカ」
- 7・26 ●週刊エコノミスト「攻める自治体「東川町」」(中村稔彦)

「アナキズム」書評
ISBN978-4-7948-1208-7



戦禍と災厄の暗がりを縫って「かけがえない離脱のとき」を生きたために。文明の黄昏のなかで紡がれた犀利な思考の記録。四六版フランス装 二七〇頁 二四二〇円

白石嘉治

書評と文字のあいだで

8刷出来

ISBN978-4-7948-0511-9



新大陸「発見」からグローバル化の現代まで、初学者向500年史の決定版!大好評ロングセラー。A5並製 二九六頁 三三〇〇円

国本伊代

改訂新版 概説ラテンアメリカ史

本を読む

生のための授業

戦後77年を迎え、幼少期の祖父の渡米、父のみ帰国したこと、祖母と父の再会などに思いをさせる。戦後に生まれて教師となった私は、教育行政への疑問を抱えた先に本書と出会った。平和とは何かを考えさせる書。

(糟屋郡 パート)

仁田坂泰弘 68歳

感情と社会性を育む学び(SEL)

同じ学習内容を学んでも、一人ひとりの児童に物語がある。つまり学びには「感情」が必ず伴う。本書は知識だけでなく感情をも育む学びを扱っており、画期的な教育書です。来年度は本書を参考にしながらカリキュラムを作りたいです。

(川崎市 小学校教員)

岡田 渉 45歳

挫折ポイント

知り合いの教員同士で本書の読書会を開きました。改めて「個の成長」を大切にしていくことを学びました。挫折ポイントという視点でこれまでの経験を振り返ってみると、まだまだ自分がやれることがあるんだと気づかされました。読書会のメンバーでまた集まって実践にどう生かされたか話し合いたいと思います。

(豊橋市 教員 坂口 肇 39歳)

好評刊

挫折ポイント

(逆転の発想で「無関心」とやる気ゼロをなくす)
A・チェイン・ハリソン＋S・メイジック
福田ステイプ利久 吉田新一郎 訳

二六四〇円

開発との遭遇

(第三世界の発明と解体)
A・エスコバル／北野収訳・解題 六八二〇円

野生動物のための

ソーシャルディスタンス
(イリオモテヤマネコ、トラ、象の保護活動に取り組むNPO)
戸川久美 二四二〇円

きみは星のかけら

E・ケルシー(文)／S・キム(絵)／光橋 翠訳 一七六〇円

編集部から

精神科医の故・中井久夫は代表作「分裂病と人類」で、狩猟採集民は痕跡や徴候に対する感覚が鋭く、農耕民は鈍いと指摘した。自然と一体に生きる前者にとつて「しるし」こそが生死を分けるからだ。農耕文明の開始に伴いその鋭敏さは失われ、「人間以外の自然」は制御しうる／すべき対象となっていく。その傲慢の果てに現下の自然環境・生態系の危機がある。新刊「動物の足跡を追って」では、スリリングな追跡の物語を通じて「自然」や「共存」の意味が哲学的・実践的に掘り下げられる。楽しく読めて思索深まる環境思想書、乞うご期待▼経済学者関満博の「卒論」シリーズ第8弾「気仙沼／震災復興から「未来」に向かう」堂々刊行。幾多の苦難を乗り越え、見事な再生を遂げて次へ向かう気仙沼、その圧巻の歴史と今が余す所なく描かれます▼国葬反対、カルト無用。

営業部から

▼直近3ヶ月(2022年6月～8月)弊社の書籍売上ベスト15をご紹介します。

- ① スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
- ② ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ③ たった一つを変えるだけ
- ④ 感情と社会性を育む学び(SEL)
- ⑤ さんねんな先生
- ⑥ 改訂版 読書家の時間
- ⑦ 日本の法人フランチャイジー
- ⑧ 攻める自治体「東川町」
- ⑨ ビヨンド!
- ⑩ プロジェクト学習とは
- ⑪ 「NHKから国民を守る党」とは 何だったのか
- ⑫ お好み書き 見えない人の「ちよつと世間話」
- ⑬ 学校図書館をハックする
- ⑭ 不安な心に寄り添う
- ⑮ 幼児から民主主義

SPCC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。